

令和6年度市民アンケート（畜産臭気について）の結果について（概要）

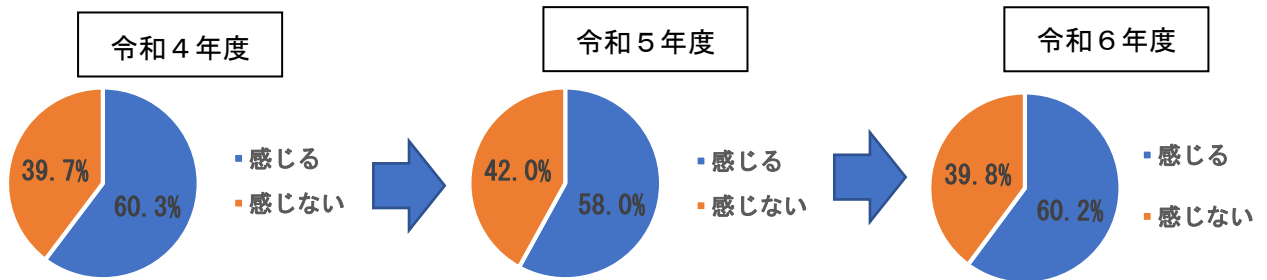
1 対象・期間

- 鹿屋市市政モニター 199人（うち、132名回答（66%） ※令和5年度73.5%）
- 令和6年11月15日から12月1日まで

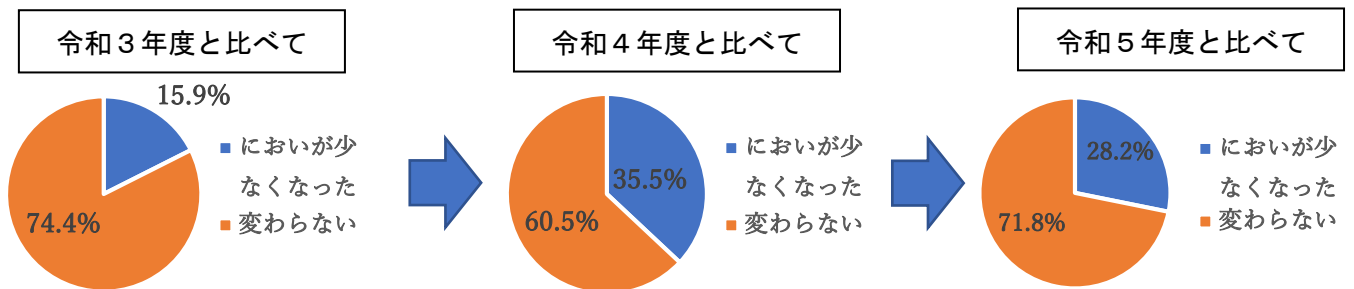
2 アンケート結果（過去2年との比較）

（1）主な結果

①臭気を感じる



②畜産のにおいについて（過去2年との比較）



（2）主な意見

【肯定的な意見】

- ・畜産が盛んな以上、これは避けられないと思います。現在行われている、植林や酵素資材を使用した対策だけでも良いと考えます。これ以上の対策、取組を行うことを考慮するとなると、木の管理、酵素資材費用に含め畜産家の負担になると考えます。市が定期的な補助などを出すのであれば水洗などの設備が良いと考えます。
- ・市民の理解度の向上（畜産は臭いがつきもの）
- ・減らすって失礼だと思います。減らすってお考えの方は畜産物を食しない。
- ・畜産業に臭いは付きものだと思います。近隣の方に理解を頂くことも大切だと考えます。勿論、理解して頂いた上での話だと思いますが。季節や風向きにも影響を受けることなので臭いを減らす取り組みと同様に理解して貰う取り組みも重要だと考えます。

【否定的な意見】

- ・何が匂うのか原因がわたしには分かりませんが、肥料などの作業をできるだけ家にいる時間帯に行って欲しいです。日中だと窓を開けたいのに開けられない、洗濯物を干したいのに干せないなど支障があります。あと呼吸困難になります。
- ・家の前の畑が堆肥を使ってからひと月くらい匂いがキツく、凄まじい量のハエが発生しました。その堆肥自体も使ってよいものかも分からないです。対策としては、匂いのきつい堆肥を使用しない（禁止）で欲しいです。
- ・畜産の場所を変更してもらうか、現状を受け入れるか。あと吾平小学校近辺は新築住宅がどんどん出来てくるので、可能であれば臭いがきつい堆肥等の置き場は場所を変更してもらいたい。

【要望意見】

- ・生き物の命を頂いて生活をしている身としては、生産元である畜産農家さんからの臭いは致し方無いものと考えております。薬物を使わない方法での消臭を希望します。また、畑等に堆肥を撒かれますが、畑までの道路に堆肥の溢れが多くある方が困ります。こちらの方を徹底していただきたいです。
- ・畜産に臭いは付きものなので仕方ないと思いますが、民家に近い畑に堆肥散布する際はなるべく早く耕運し、においの発生をなるべく減らす等の工夫が大事だと思います
- ・畜産農家は堆肥の管理をして完熟した堆肥を作る。臭いの強い堆肥を畑に撒かない。畑に堆肥を撒いたら直ぐにロータリーをかける。堆肥を販売している業者は臭いの強い堆肥を販売しない、畑に撒かない。

【その他】

- ・日常的なので、生活臭と思っております。日本人の食を支えるという意味では、人間と同じで家畜の食の問題を考えるべきかもしれません。
- ・時々ですが町が臭う時があります。(川でしょうか？何のにおいなのは不明です)取り組みとしては専門的には分かりませんが、においがきつく感じる場所においては現地の聞き取りパトロール等で現在の対策を聞きつつ、改善しながらにおいを減らす対策をしていけたら良いのでは？と思います。

3 畜産課の取組み

- ・外部の専門家に本市の臭気の発生メカニズム等の調査依頼 **新たな取組み**
- ・EM菌を配布し、畜舎や堆肥等に散布
※堆肥に散布することにより、農地還元した際の臭気も抑えられる
- ・臭気資材の提供（消臭菌 KATSU、アンモニアメッシュ） **強化している取組み**
※消臭菌 KATSU については、EM菌と併せて畜舎や堆肥等に散布
※アンモニアメッシュについては、臭いの元の周りを囲い、臭気抑制を図るもの。